

目標達成計画

作成日: 令和6年 1月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		新型コロナウイルス感染症防止の為、外部との接触を控えていた結果、生活の中で身体機能、認知機能の低下を感じる。	出来るだけホーム外へ出て地域の方々と交流を行い、刺激を得る事で生活の質や機能向上を目指す。	地域行事への参加、100歳体操の参加、ボランティアの受け入れ、買い物支援、園児、児童との交流	24ヶ月
2		お手伝いの内容が出来る方のみで、進めてしまい、スタッフの思い込みもあり、出来ない方の能力を引き出せていないように感じる。	普段お手伝いに参加されない方を主に、スタッフが付き添い誘導しながら少しでも参加していただく事で、能力を引き出し次の意欲へと繋げる。	まずは職員の意識を変え、出来ないとの思い込みをなくす。調理の下準備、洗濯物たたみ、お盆拭きなど、本人様の意向を伺いながらスタッフと一緒に作業を進める。	24ヶ月
3		以前に比べ、利用者様の会話や挨拶の場面で声が小さく会話も長続きしていない為、声を発する場面が少なく、力強さを感じられない。	コミュニケーションの機会を増やし今までより言葉を多く発していただけるようなアプローチを行い活気のある生活を過ごしていただく。	コミュニケーション支援の内容を工夫し、昔の生活状況や若い時の話などを伺い質問を増やし出来るだけ言葉を多く引き出す。又、挨拶を元気な声で交わしていただき習慣化できるように支援する。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月